

重すぎる負担を軽くしてください！
国民健康保険制度の改善を求める請願署名

帯広市長 米沢則寿 殿

2019年 月 日

【要請趣旨】

国民健康保険制度は国民皆保険制度を支える重要な役割を果たしていますが、皆保険のセーフティネットというべき国保料（税）は所得に占める負担割合が高く、多くの国民が医療から遠ざけられ、いのちさえも奪われる深刻な事態に直面しています。

国保に加入する中小業者、年金者、非正規労働者などの多くは、低所得状況にあります。税金や医療費などの重い負担が生活にのしかかり、担税能力を超え、払いきれない市民には、生命保険の差押えなども起きています。憲法25条は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と定めています。

国保料（税）を収められる額に引き下げ、誰もがいつでも、どこでも安心して医療を受けられる国保制度に早急に改善するよう以下の事項を切に求めます。

【要請項目】

1. 国に対し、国庫負担の増額を求め、国保料（税）を協会けんぽ並みに引き下げる
2. 子育て世帯などに過酷な負担となっている「均等割」の廃止

名 前	住 所

十勝社会保障推進協議会
帯広民主商工会
帯広市西一条南4丁目7 (0155-22-4555)

【取扱い団体】